「まちづくり何か仕掛けを」

来月3日講演　松本さん新湊視察

射水　射水市が8月3日に開く「まちづくりシンポジウムinしんみなと」で基調講演する「商い創造研究所」（東京）の松本大地代表が23日、同市新湊地域を視察した。シンポのパネルディスカッションでコーディネーターを務める松本代表は「新湊地域が元気になる処方箋を示せたらいい。まちづくりに興味を持ってもらえる内容にしたい」と話した。

東橋から内川を視察する松本代表（左）

松本代表は全国各地でまちづくりや地域活性化に関するコンサルティングを手掛ける。この日は、市職員や市移住コーディネーターの沼尻美帆さんに案内され、川の駅新湊や内川周辺の店などを見て回った。内川沿いの景色を眺め「生活風景がそのまま見えるのがいい。地域経済を循環させ交流人口を増やすため、観光客が何度も来たくなるような仕掛けがあればいい」と話した。古民家を改装したバーやカフェも訪れ、デザイン性を高く評価した。

シンポは旧新湊庁舎跡地に整備される複合交流施設と新湊地域の観光資源を生かしたまちづくりを考えるのが狙い。午後1時から同市高周波文化ホール（新湊中央文化会館）で開く。北日本新聞社後援。

地域ワイド

射水市新湊地域中心部を流れる内川周辺で、26、27の両日に行われるイベント「内川十楽の市・夏の夜の彩り」

全国高文祭書道部門出場

川渕さんを市長ら激励

氷見　氷見市から全国高校総合文化祭の書道部門に出場する川渕琴音さん（高岡高3年）＝写真＝の激励式は22日、市役所であり、関係者が活躍を祈った。

林正之市長が「心に残る大会にしてほしい」と期待。川渕さんは「全国から集まる作品を間近で感じ、自分にない表現を味わってきたい」と話した。

川渕さんは平安時代の中務集を臨書した。一通り書き上げるのに1週間かかったという。書道部門は27～31日、佐賀県唐津市で開かれる。全国から約300点が出品され、審査を受ける。

「不登校 不幸じゃない」

経験者ら座談会で意見交換

高岡　不登校をテーマにした座談会が23日、高岡市東上関の「コミュニティハウスひとのま」で行われ、参加者が不登校経験者の小幡和輝さん（25）＝和歌山＝らを交えて意見交換した。

小幡さん（中央）と不登校をテーマに話す参加者

小幡さんは小学2年から中学3年まで不登校を経験。子どもの自殺が多くなる新学期前の8月18日に不登校の児童生徒や保護者らが集まるイベント「#不登校は不幸じゃない」を全国100カ所で一斉に開くことを発案した。県内は富山市八尾町下乗嶺の「いっぷく処（どころ）　まめのま」で行う。

開催に先駆けて全国を回ってイベントをPRしており、この日は不登校生徒の保護者ら約20人が集まった。小幡さんが「不登校のネガティブなイメージを拭いたい」と話し、参加者からは「オンラインの授業参加を認めてほしい」などの意見が出た。

コシを試食する園児

小矢部　小矢部こども園36人は23日、同のほ場で、トウの収穫体験を行JA水島青年高宏部長）が、川農産と合同で

南砺　同好の作品展が

静物画

福祉会館や人物画ている＝写活動成果開き、22回作を中心にンの瓶なた森松直裕